



かえで便り

2016. 7 第9号

本格的な夏！になってきましたね。
子供たちは暑さの中でも元気いっぱい遊んでいますが、親としては外に出たくない気持ちも。そんな時は水遊び。プールに行けなくても、公園の水遊び場、お庭でビニールプール、もっと気楽に水鉄砲でも（水鉄砲は大人もはまります、全身ずぶ濡れになりますが楽しい！）。普段と違う遊び方で子供の五感も発達するかも？汗もさっぱりするかも？

せっかく、四季のある日本にいるので、その季節にしか体験できない遊びをさせてあげてみましょう。お子さんの意外な一面が見れるかも。

ただ、水の事故にはどんな年齢でも十分、注意してください。また、小さいお子さんほど、日焼けがひどくなったり、熱中症になりやすいため、長時間にはならないようにしましょう。



～お知らせ～

○臨時休診・夏季休診のご案内

臨時休診 7月16日(土)

夏季休診 8月22日(月)～8月25日(木)

上記以外は通常の診療となります。（お盆の時期は診療しております）

ご迷惑をおかけ致しますが、ご理解の程よろしくお願い致します。

★お急ぎの方は下記をご利用ください

東京都医療機関案内サービス「ひまわり」 ☎03-5272-0303

杏林大学医学部付属病院 ☎0422-47-5511

武蔵野赤十字病院 ☎0422-32-3111

○ホームケアアドバイスとかえで便りのファイルを待合室・本棚の上に置きました

診察の際に時々お渡ししている、お家でのケアの仕方などの資料です。

解熱剤の使い方、胃腸炎の時のお勧めの食べ物 etc について、前もって知っておくと良いと思います。資料が欲しい方はさしあげますので、受付にお声かけください。また、これまでのかえで便り（院内報）も同じファイルに入れましたので、ご覧ください。

～感染症情報～ 流行している感染症をお知らせします

○咽頭炎(のどに炎症が起きる)を生じる下記の3種類の感染症が増えています。

いずれも咳、鼻水はあまりみられません、強いのどの痛みを伴います。

・アデノウイルス感染症

扁桃腺炎、結膜炎、胃腸炎と様々な症状があります。

扁桃腺炎がひどい場合は、白っぽい膿のようなものが見られたり、39度前後の高熱になります。結膜炎は目やにだけでなく、目の充血が他の結膜炎よりひどいことが多いです。

・ヘルパンギーナ

のどにプチプチとした小さな水泡ができて、赤くなります。

高熱になることが多く、のどの痛みが強く、食事がとれなくなることもよくあります。

・溶連菌感染症

のどの痛みは強いですが、熱がでないこともあります。時々、吐いたり、小さな発疹が出たりすることもあります。

○手足口病

夏かぜの一種です。口の中全体、手のひら、おしり、膝、足に小さい水泡ができます。

微熱で済むことが多いですが、口の中にたくさん水泡ができると、かなり痛がり、食べられなくなり、よだれが多くなったりします。

口の中はなく、体の水泡だけのこともあり、その場合は元気です。



○おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)・・・小学生中心の小流行が続いています。

耳の前～下、時には顎の下が腫れます。発熱はないことが多いです。

○みずぼうそう(水痘)・・・幼児～小学生に少しみられます。

全身にまんべんなく、赤み、かゆみを伴った水泡ができます。発熱はないことが多いです。